

2022年10月11日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

黒姫グループに投資実行

ニューホライズンキャピタル株式会社(本社 東京都港区西新橋、取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」)が管理運営する、ニューホライズン3号投資事業有限責任組合(以下総称して「弊社」)は2022年10月4日付で、株式会社青海(本社:東京都江東区 代表取締役 渡邊明彦、以下「青海」)の株式を譲り受け、青海の子会社である株式会社黒姫(本社:東京都足立区 代表取締役 渡邊明彦、以下「黒姫」)、青海の孫会社となる埼玉総業株式会社(本社:埼玉県さいたま市 代表取締役 渡邊明彦、以下「埼玉総業」)及び広域環境開発株式会社(本社:千葉県袖ヶ浦市 代表取締役 渡邊明彦、以下「広域環境」)で構成される黒姫グループ(青海、黒姫、埼玉総業、環境開発の4社を総称して以下、「黒姫グループ」)への投資を実行致しましたのでお知らせします。

黒姫は1973年に有限会社渡辺土木(土木工事業)として設立された後、産業廃棄物収集運搬業へと進出しました。2001年に持株会社として青海を設立し、株式交換により黒姫は青海の100%子会社となりました。その後、2011年に広域環境を、2014年に埼玉総業をM&Aで取得しました。黒姫グループは産業廃棄物の中でもコンクリートガラの収集運搬と中間処分に特化した企業です。首都圏のビル解体工事で発生するコンクリートガラを自社処分場へ運搬し、破碎処理を行い砕石(砂利)にし、道路工事用の再生砕石として販売をしています。

黒姫グループの特徴は、千葉県船橋市、千葉県袖ヶ浦市、埼玉県さいたま市、茨城県古河市の4か所に中間処分場を保有していることです。再開発需要の旺盛な都内を中心とした、首都圏の解体工事現場で発生するコンクリートガラを、その大きさ・品質などの特徴や解体現場からの距離などを踏まえ、最適な処分場を選んで運搬することで高い収益力を実現しています。首都圏における建設需要は当面旺盛であることから業績は堅調に推移していくと見込んでおります。投資後はトラックドライバーの採用強化等により、グループ全体の運搬能力を強化することで更なる業績の向上が見込めると判断しこの度の投資に至りました。さらに、昨今の環境意識の高まり、持続可能な社会の構築への貢献など、本件投資の実行は弊社の責任投資原則(ESGポリシー)に照らしても社会的意義があるものと考えております。

なお、新しい経営体制として、弊社から取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

以上

〈ニューホライズンキャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業された前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 20 年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超)を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、ローカルフォリオ、ウィルミナ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業、エスエーティ、リードプラス、平世美装、BIQREA ホールディングス、トルクシステム、イデアルなど、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:03-5532-8921